

第二回全国高等学校情報教育研究会の報告

大阪府立桃谷高等学校教諭 野部 緑
兵庫県立西宮香風高等学校教諭 松本 吉生

1. 「全国高等学校情報教育研究会」とは

教科「情報」が実施されたのが平成15年。その後、各都道府県の研究会では、実践的な指導力の向上を目指しての活動が行われてきた。そして、昨年、これらの各研究会を全国的なネットワークに広げること、そして全国の先生方の発表を通じて、情報交換を行い交流を深めることを目的として「第一回全国高等学校情報教育研究会」が平成20年8月22日に開催された。大会テーマは「Next Stage -新たに広がるネットワークの構築-」であった。大会開催にあたっては、全国各都道府県の高等学校情報教育に関する研究会や教育委員会等に広く呼びかけ、有志の実行委員会を組織し、現場の教員が中心となって企画運営が行われ、全国から300名を超す参加者があった。

今年はこの第二回大会が、茨城県の筑波学院大学を会場として、8月24日に開催された。テーマは「ICTコンパス —あふれる情報の波を乗りこなす—」、主催は「全国高等学校情報教育研究会」と「関東都県高等学校情報教育研究会」で、共催が「茨城県高等学校教育研究会情報部」である。昨年に引き続き、関東の高等学校の情報研究会が中心であるが、本年度も、全国各地から約260名の参加者が集まり、情報交換や交流が行われた。

2. 第二回全国大会の開催

第二回大会前日の8月23日、筑波学院大学では、主催となっている「関東都県高等学校情報教育研究会」と、共催であり実際の運営を行っている「茨城県高等学校教育研究会情報部」の先生方を中心に、紙袋にパンフレット類をセットしたり、看板を設置したり、会場整備など次の日の研究会の用意が行われていた。もちろん、前日だけではなく、実行委員のメーリングリストで、いろいろな打ち合わせの様子が流れていた。この日を迎えるまでに関東では打ち合わせの会がいくつもあり、それらを踏まえて、最後の仕上げとしての前日の準備である。

■第一回大会ではほとんど準備に関わることはできなかったのですが、今年は少しでもお手伝いを、と思い前日から参加しました。準備に参加させていただくことで、高校の先生が中心となった手作りの大会ということを実感できました。また、多くは関東の先生方ですが、前日が日曜ということもあるのか、いろいろな地域の先生が準備に参加しておられたのも印象的でした。(野部)

3. 全国大会午前の部

翌日の8月24日は大会の当日である。この日は授業が始まっている学校もあるので、参加人数が心配されたが出足は好調であった。昨年は受付時に少し混乱も見られたが、今年は昨年の経験が生かされていて、人の流れもスムーズであった。

大会の午前は、筑波学院大学の大使室で総会、開会行事のあと基調講演が行われた。

基調講演は、文部科学省初等中等教育局視学官である永井克昇先生より「新学習指導要領と情報科」というテーマで講演をいただいた。

参加者の関心が高い新学習指導要領について、改正のポイントや何を目的にしているのか、何を高校でしてほしいのかということについて、時間をオー



基調講演

バーするぐらいのお話であった。かなり、ご自分の思いについてもお話をされていたように思う。特に、「3科目から2科目になったのは後退ではなく、2科目になったからこそ両方の科目を生徒が選択できるように、という希望はできるだけ実現してほしい」とのお話が印象的だった。

4. 分科会とポスターセッション

午後からは分科会とポスターセッション。分科会は6会場に別れて24のテーマの発表があった。「Squeakを使ったプログラミング教育の導入」や「情報の科学的な理解を促す導入的教材と考察」、「小・中の学習内容からみる『情報の科学的な理解』」などの情報の科学的理解に関する発表、「情報デザインの手法を取り入れた情報の授業」といった情報デザインに関する発表、「主体的な情報モラルの育成について」などの情報モラルに関する発表など、取り上げられたテーマは幅広く、実践的な内容で、できれば全部の発表を聞きたいと思わせるものだった。また、関西からは、「教科情報の授業実践と高大連携の可能性」(兵庫県立御影高等学校 赤松正人)、「大阪私学教育情報化研究会の取り組み」(大阪私立羽衣学園高等学校 米田謙三)、「絵描き歌を利用した情報伝達の授業」(大阪府立桃谷高等学校 野部緑)の発表があった。

■私の発表は「絵描き歌を利用した情報伝達の授業」でした。「こういう工夫であれば、自分の授業に取り入れたい」と思って発表しています。今回



分科会



ポスターセッション

は、質疑応答も活発で、発表の内容以外にもいろいろと質問がありました。そのためか、終わってから「自分でもやってみたいと思います」と言ってもらえたのが嬉しかったです。(野部)

ポスターセッションは2つの会場に分かれて、19の発表があった。会場の壁面にはパネルが用意され、発表者は模造紙などで作ったポスターを掲示し、その前で説明を行った。テーブルにコンピュータを並べてデモを行いながらの発表もあった。

■ポスターセッションで「InfoPathとSQL Serverを使った教務システム内製」という発表をしました。ポスターセッションというのは初めてだったので戸惑いもありましたが、多くの先生に興味を持っていただけました。(松本)

5. 来年に向けて

事務局では来年の大会に向けての準備が始まっているようである。この大会は、まさに現場の先生方による手作りの実践的な研究会であると感じた。高等学校の教科「情報」のノウハウを共有する場として、ぜひ全国の多くの先生方がこの大会に参加されることを期待する。

参考 URL

1)「全国高等学校情報教育研究会」、<http://www.zenkojoken.jp/>